

第3章

－子どもと大人－

この章では、「三重県子ども条例に基づく調査」の結果をもとに、子どもと大人の意識の違いや大人との関わりと子どもの自己肯定感との関係などをみます。

子どもと家族との関係では、学校などの出来事についてよく話をしていますが、困ったことや悩みについては必ずしも相談できていない状況も見られます。

また、保護者が思っているより、家庭や地域、学校などふだん生活している中で「大切にされている」と感じたり、大人は自分の「意見を聞いてくれている」と答える割合は低く、子どもと大人の意識には差が見られます。

その一方で、「大切にされている」と感じたり「意見を聞いてくれている」と感じるのと「自分のことが好き」と答えることには関係がみられます。

これらのことから、子どもが自己肯定感を高め、夢や将来の希望を持って、自分らしくいきいきと育つためには、地域や家庭、学校などにおける大人の関わりが重要と考えられます。

第3章 第1節 家族との関係

(1) 家族との会話・対話の状況

●学校などでの出来事について「話をしている」子ども・保護者はともに80%以上で、増えている。

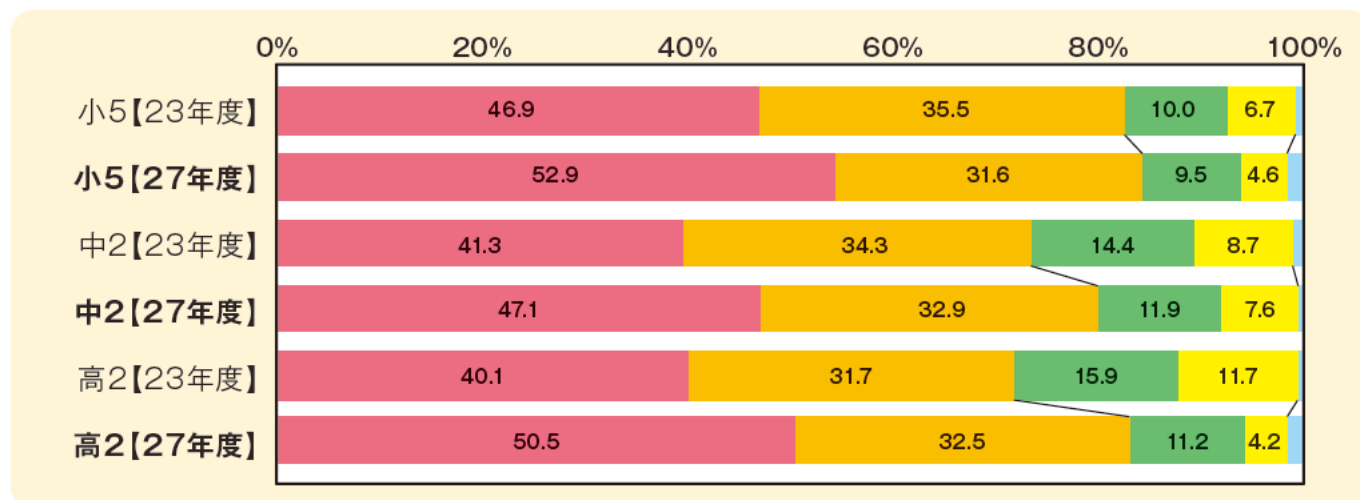
「学校などでの出来事について話をしていますか」という質問に対して、「している」「どちらかといえば、している」と答えた小学生は84.5%、中学生は80.0%、高校生は83.0%で、前回の調査より、小学生は2.1ポイント、中学生は4.4ポイント、高校生は11.2ポイント、それぞれ高くなっています。

また保護者について、子どもと話を「している」「どちらかといえば、している」小学生の保護者は89.2%、中学生の保護者は84.9%で、いずれも前回の調査より高くなっています。

図3-1 学校などでの出来事についての会話(子ども)

Q. あなたは、家の人(兄弟姉妹は含みません。)と学校などでの出来事について話をしていますか。

■ している ■ どちらかといえば、している ■ どちらかといえば、していない ■ していない ■ 無回答

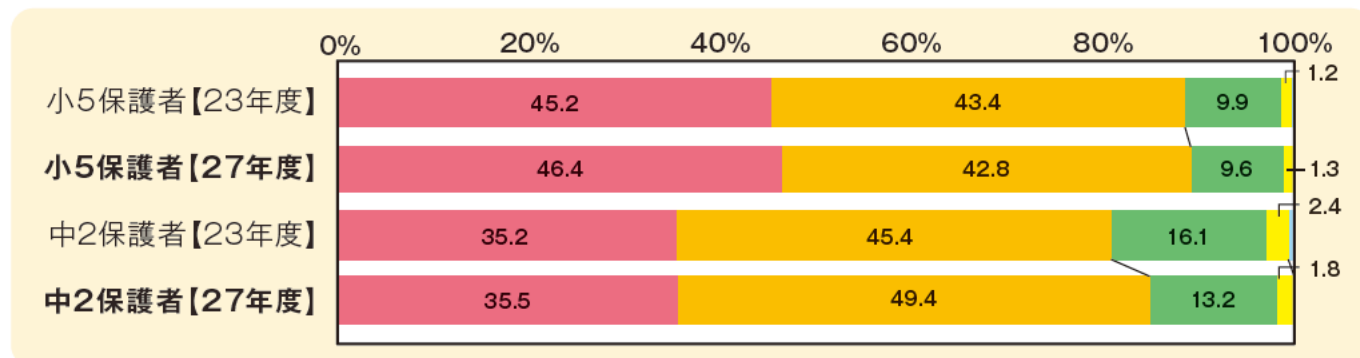


資料:「三重県子ども条例に基づく調査・子ども調査」

図3-2 学校などでの出来事についての会話(保護者)

Q. あなたは、お子さまと学校などでの出来事について話をしていますか。

■ 話している ■ どちらかといえば、話している ■ どちらかといえば、話していない ■ 話していない ■ 無回答



資料:「三重県子ども条例に基づく調査・保護者調査」

●「困ったことや悩み」を家の人に話す子どもは増えているが、保護者が思っているほどには相談していない。

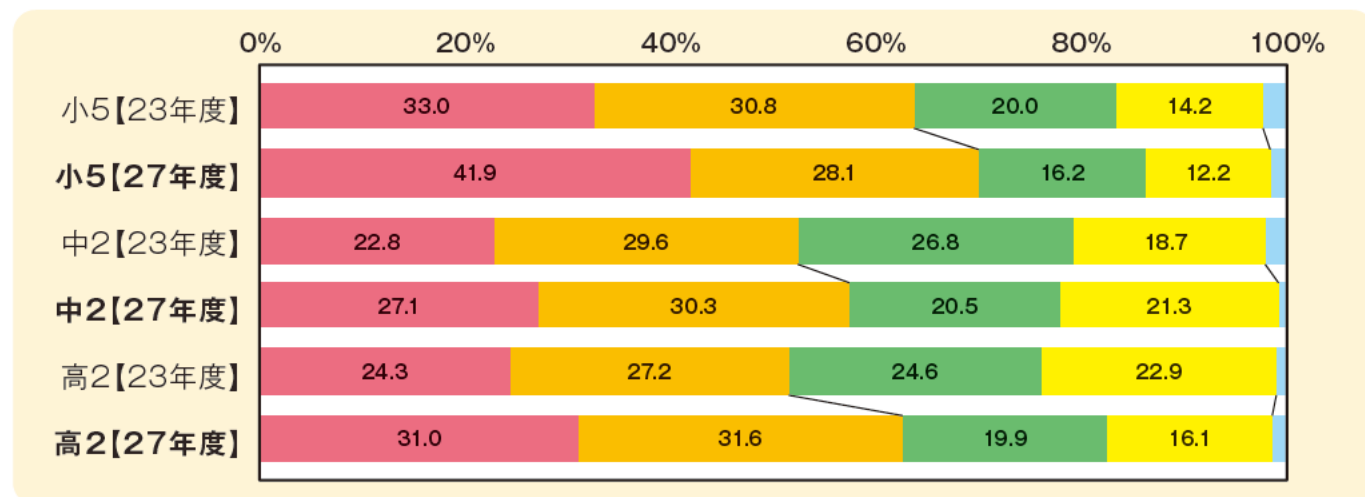
「困ったことや悩みがあったとき、家の人に話をしていますか」という質問に対して、「している」「どちらかといえば、している」と答えた小学生は70.0%、中学生は57.4%、高校生は62.6%で、前回の調査より、小学生は6.2ポイント、中学生は5.0ポイント、高校生は11.1ポイント、それぞれ高くなっています。

一方、「子どもが困ったことや悩みがあったとき、家の人に話をしていると思いますか」という質問に対して、「思う」「どちらかといえば、思う」と答えた小学生の保護者は89.5%、中学生の保護者は79.1%で、いずれも前回の調査より高くなっていますが、子どもと保護者の意識には差があり、保護者が思っているほどには、子どもは保護者に相談していない状況がうかがえます。

図3-3 「困ったことや悩み」についての子どもの相談

Q. あなたは、困ったことや悩みがあったとき、家の人(兄弟姉妹は含みません。)に話をしていますか。

■ している ■ どちらかといえば、している ■ どちらかといえば、していない ■ していない ■ 無回答

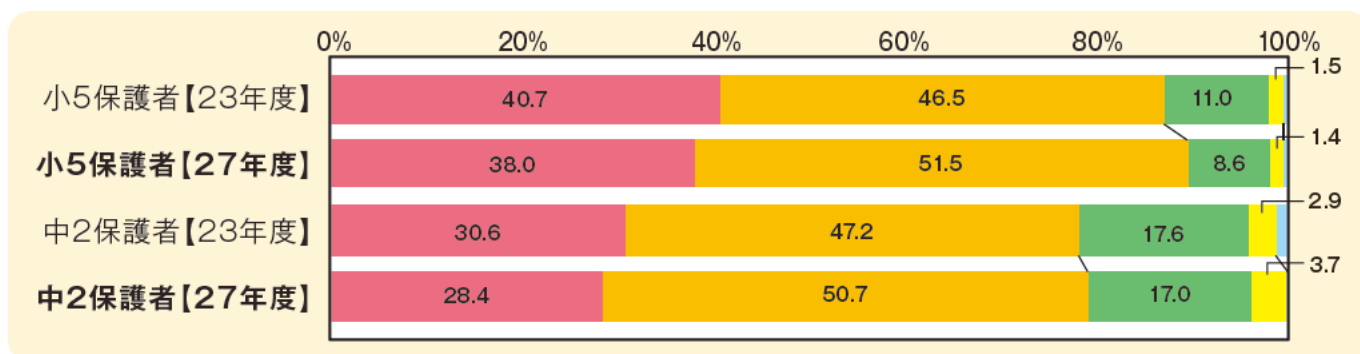


資料:「三重県子ども条例に基づく調査・子ども調査」

図3-4 保護者からみた「困ったことや悩み」についての子どもの相談

Q. あなたは、お子さまが困ったことや悩みがあったとき、あなたや家の人(お子さまの兄弟姉妹は含みません)に話をしていると思いますか。

■ 思う ■ どちらかといえば、思う ■ どちらかといえば、思わない ■ 思わない ■ 無回答



資料:「三重県子ども条例に基づく調査・保護者調査」

●家の人に言われていやな気持ちになるのは、小学生は「自分がやりたいことを反対されたとき」、中学生・高校生は「他の人とくらべていろいろ言われたとき」が最も多い。

「家の人にどんなことを言われたときにいやな気持ちになりますか」という質問に対して、最も割合が高くなっているのは、小学生は「自分がやりたいことを反対されたとき」で40.9%、中学生と高校生は「他の人とくらべていろいろ言われたとき」でそれぞれ52.6%、39.3%となっています。

図3-5 家の人に言われていやな気持ちになること

Q. あなたは、家の人(兄弟姉妹は含みません。)にどんなことを言われたときにいやな気持ちになりますか。(複数回答・いくつでも)

項目	小学5年生		中学2年生		高校2年生	
	27年度	23年度	27年度	23年度	27年度	23年度
勉強しろと言われたとき	31.1	31.6	44.4	②44.4	③36.5	31.2
友だちのことで口出しをされたとき	18.4	18.3	33.1	25.2	24.5	25.2
寝る時間、起きる時間、帰る時間、整理整頓など、生活についてあれこれ言われたとき	②39.2	①42.8	②46.1	③41.8	②39.2	②35.6
他の人とくらべていろいろ言われたとき	③35.4	②39.6	①52.6	①47.0	①39.3	①38.7
進路のことをいろいろ言われたとき	8.6	9.3	24.4	24.9	18.9	24.1
自分がやりたいことを反対されたとき	①40.9	③37.6	③44.9	37.2	36.3	③34.4
その他	7.4	7.1	6.3	4.2	4.7	7.6

資料:「三重県子ども条例に基づく調査・子ども調査」

注:①②③の項目は今回・前回それぞれの上位3位を表す。

●「家の方は、仲の良い友だちの名前を知っていると思う」小中学生と、「子どもの仲の良い友だちの名前を知っている」と思っている保護者はともに90%以上。

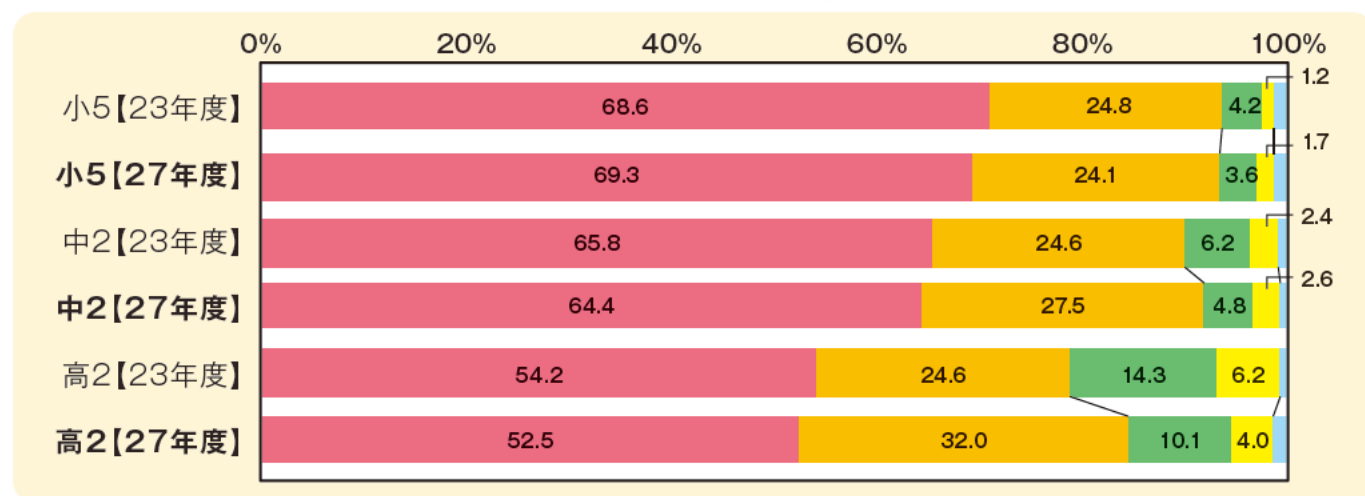
「家の方は、仲の良い友だちの名前を知っていると思いますか」の質問に対して、「知っていると思う」「だいたい知っていると思う」と答えた小学生は93.4%、中学生は91.9%、高校生は84.5%となっています。

また、「子どもの仲の良い友だちの名前を知っていますか」の質問に対して、「知っていると思う」「だいたい知っていると思う」と答えた小学生の保護者は95.1%、中学生の保護者は92.3%となっています。

図3-6 「仲の良い友だちについて」の認識

Q. 家の人(兄弟姉妹は含みません。)は、あなたの仲の良い友だちの名前を知っていると思いますか。

■ 知っていると思う ■ だいたい知っていると思う ■ あまり知らないと思う ■ 知らないと思う ■ 無回答

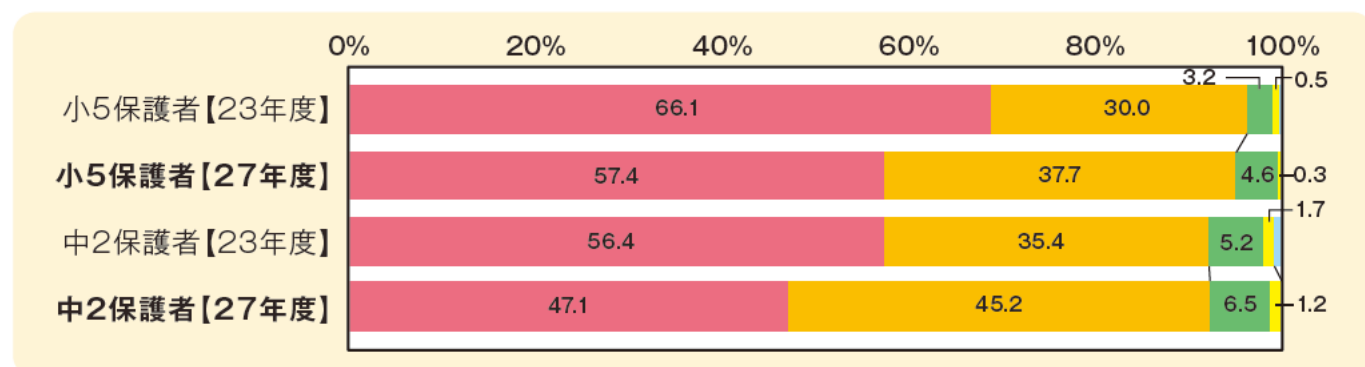


資料:「三重県子ども条例に基づく調査・子ども調査」

図3-7 「仲の良い友だちについて」保護者の認識

Q. あなたは、お子さまの仲の良い友だちの名前を知っていますか。

■ 知っている ■ だいたい知っている ■ あまり知らない ■ 知らない ■ 無回答



資料:「三重県子ども条例に基づく調査・保護者調査」

●「ほっとする場所」は、80%以上が「自分の家」。ただし、保護者と子どもの意識には差がある。

「あなたがほっとする場所はどんなところですか」という質問に対して、「自分の家」が小学生は83.4%、中学生は84.7%、高校生は87.9%と最も多くなっています。保護者からみた子どものほっとする場所も「自分の家」が最も多くなっていますが、その割合は小学生の保護者で97.7%、中学生の保護者の96.1%となっており、子どもと保護者の意識には差がみられます。また、小学生では「図書館」と答える割合が、前回の調査より10.6ポイント高くなっています。

図3-8 子どものほっとする場所

Q. あなたがほっとする場所はどんなところですか。(複数回答・3つまで)

項目	(%)					
	小学5年生		中学2年生		高校2年生	
	27年度	23年度	27年度	23年度	27年度	23年度
自分の家	①83.4	①83.7	①84.7	①85.9	①87.9	①84.6
学校	15.5	17.2	③20.9	18.8	③12.7	③14.0
友だちの家	16.7	③19.7	20.5	②17.5	11.8	②17.5
おじいさんやおばあさんの家	②37.5	②35.1	②25.9	②17.5	②17.6	12.0
図書館	③23.7	13.1	13.5	7.8	6.9	5.9
公園	9.6	6.3	5.8	3.3	5.1	3.3
塾	4.3	2.2	5.2	1.8	1.5	0.8
児童館	1.6	1.0	0.4	0.0	0.1	0.1
習い事の教室、スポーツクラブ	8.7	8.5	5.5	3.8	2.2	2.5
フリースクール、フリースペース	0.2	0.0	0.7	0.2	0.3	0.3
コンビニエンスストア	2.5	1.5	4.0	2.2	1.7	1.6
ゲームセンター、カラオケボックス	10.2	8.6	10.4	7.1	6.1	6.6
ファーストフードの店、ファミリーレストラン	2.3	2.8	3.0	2.1	2.0	2.4
その他	6.6	5.4	8.0	5.4	7.2	6.5
とくにない	4.1	1.9	4.4	2.6	4.4	2.4

資料:「三重県子ども条例に基づく調査・子ども調査」

注:①.②.③の項目は今回・前回それぞれの上位3位を表す。

図3-9 保護者からみた子どものほっとする場所

Q. あなたは、お子さまがほっとする場所はどんなところだと思いますか。(複数回答・3つまで)

(%)

項目	保護者(小学5年生)		保護者(中学2年生)	
	27年度	23年度	27年度	23年度
自分の家	①97.7	①94.2	①96.1	①94.1
学校	③18.2	③16.1	③19.2	③16.9
友達の家	9.2	10.3	11.2	13.6
祖父母の家	②47.6	②37.9	②30.8	②26.2
図書館	4.8	3.4	3.1	2.2
公園	6.1	3.7	1.0	0.6
塾	0.8	1.0	3.0	2.4
児童館	0.8	0.5	0.2	0.1
習い事の教室、スポーツクラブ	9.7	9.8	6.0	8.3
フリースクール、フリースペース	0.0	0.0	0.1	0.4
コンビニエンスストア	0.3	0.0	0.5	0.2
ゲームセンター、カラオケボックス	2.2	1.8	2.1	1.4
ファーストフードの店、ファミリーレストラン	0.9	0.8	0.6	0.9
その他	2.5	1.4	2.1	3.1
特にないと思う	0.1	0.0	0.7	0.3
わからない	0.6	0.2	1.0	0.6

資料:「三重県子ども条例に基づく調査・保護者調査」

注:①.②.③の項目は今回・前回それぞれの上位3位を表す。

(2) 子どもに関する保護者の悩み

●保護者の子どもに関する悩みは、「子どもの成績や進学」が最も多い。

「子どもについてどのような不安や悩みがありますか」という質問に対して、「子どもの成績や進学」と答えた小学生の保護者は47.1%、中学生の保護者は69.2%で最も高く、次いで「子どもの友達関係」「子どもの育て方やしつけ」の順となっています。

図3-10 子どもに関する保護者の悩み

Q. あなたは、今、お子さまについてどのような不安や悩みがありますか。(複数回答・いくつでも)

項目	(%)			
	保護者(小学5年生)		保護者(中学2年生)	
	27年度	23年度	27年度	23年度
子どもの健康	24.8	24.3	24.3	20.8
子どもの成績や進学	①47.1	①42.8	①69.2	①73.9
子どもの友達関係	②42.8	③36.1	②34.8	②28.2
子どもの生活態度	24.8	26.5	27.0	23.7
子どもの就職	7.9	11.1	13.2	18.5
子どもの育て方やしつけ	③41.2	②41.8	③28.3	③25.6
子どもとあなたとの関係	6.8	—	5.8	—
子どもと配偶者との関係	4.1	4.8	4.9	3.5
子どもと先生との関係	8.0	4.7	6.1	7.3
教育費	21.7	17.7	21.4	20.2
その他	2.3	1.9	1.9	1.3
特に悩みはない	14.8	15.3	9.7	9.0

資料:「三重県子ども条例に基づく調査・保護者調査」

注:①.②.③の項目は今回・前回それぞれの上位3位を表す。

注:前回には「子どもとあなたとの関係」の選択項目はありません。

(3) 子どもの育ちにおける保護者の役割

●保護者の役割は、「心の安らぎを与える」や「夢や希望を応援する」、「心身の成長を支える」が上位。

「子どもがいきいきと育つために、あなたはどのような役割を担うべきですか」という質問に対して、小学生の保護者は「心の安らぎを与える」が82.6%と最も高く、次いで「心身の成長を支える」、「子どもの夢や希望を応援する」の順となっています。

中学生の保護者も「心の安らぎを与える」が73.3%と最も高く、次いで「子どもの夢や希望を応援する」、「心身の成長を支える」の順となっています。

図3-11 子どもの育ちにおける保護者の役割

Q. お子さまがいきいきと育つために、あなたはどのような役割を担うべきだと思いますか。
(複数回答・いくつでも)

項目	保護者(小学5年生)		保護者(中学2年生)	
	27年度	23年度	27年度	23年度
心の安らぎを与える	①82.6	①79.3	①73.3	①75.6
心身の成長を支える	②74.6	②68.6	③69.8	③65.7
しつけをおこなう	45.6	46.9	41.4	40.9
社会規範を教える	42.2	39.5	41.1	41.3
気軽に相談にのる	55.6	50.9	56.3	51.3
積極的に声をかける	29.2	30.4	27.5	31.2
事故や犯罪から守る	56.2	50.2	48.7	43.6
有害な情報から守る	29.7	29.3	25.7	25.8
勉強を教える	23.5	21.3	10.4	9.0
スポーツや遊びの指導や相手をする	26.2	25.2	14.5	14.9
様々な体験の機会を設ける	59.9	56.9	45.2	44.5
伝統や文化、風習を伝える	21.9	22.2	17.2	18.8
家庭における役割を与える	36.8	39.1	33.1	34.8
自主的な活動をうながす	45.4	45.9	42.4	42.6
子どもの夢や希望を応援する	③72.5	③67.8	②72.7	②66.1
その他	1.5	0.8	1.2	1.0
わからない	0.4	0.0	0.5	0.7

(%)

資料:「三重県子ども条例に基づく調査・保護者調査」

注:①.②.③の項目は今回・前回それぞれの上位3位を表す。

(1) 大人からの愛情

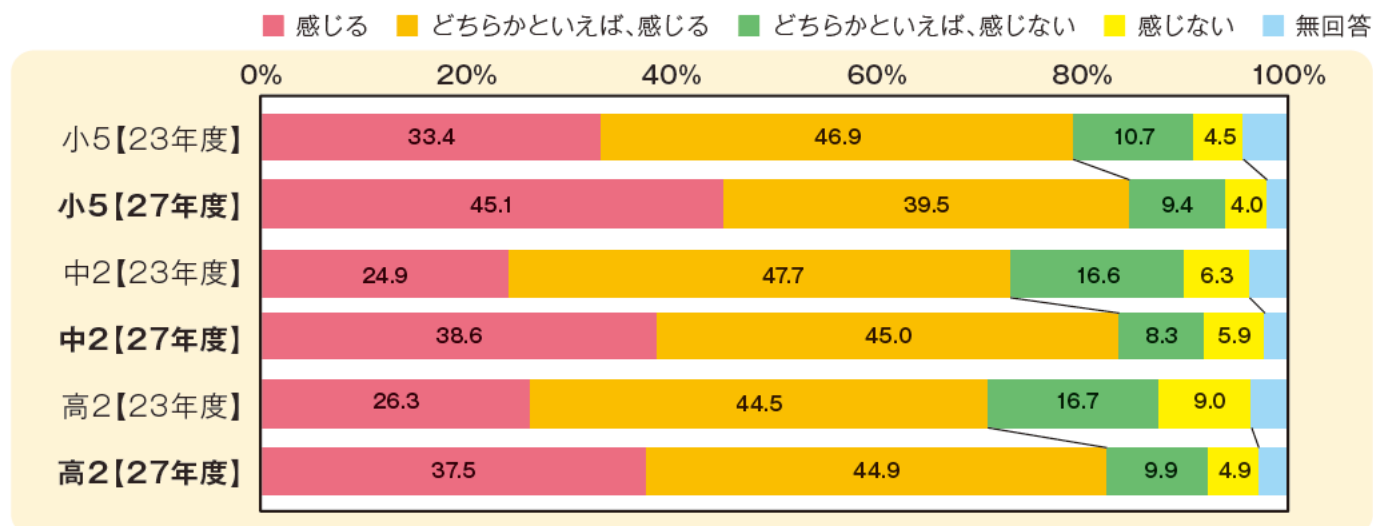
●「大切にされている」と感じる子どもの割合は、「子どもは大切にされている」と感じる保護者よりも低い。

「家庭や地域、学校などふだん生活しているなかで、大切にされていると感じますか」という質問に対して、「感じる」「どちらかといえば、感じる」と答えた小学生は84.6%、中学生は83.6%、高校生は82.4%となっており、前回の調査より、小学生は4.3ポイント、中学生は11.0ポイント、高校生は11.6ポイント、それぞれ高くなっています。

一方、「あなたの子供が、家庭や地域、学校などふだん生活しているなかで、大切にされていると感じますか」という質問に対して、「感じる」「どちらかといえば、感じる」と答えた小学生の保護者は95.7%、中学生の保護者は94.1%で、子どもと保護者の間には意識の差がみられます。

図3-12 「大切にされている」と感じるか

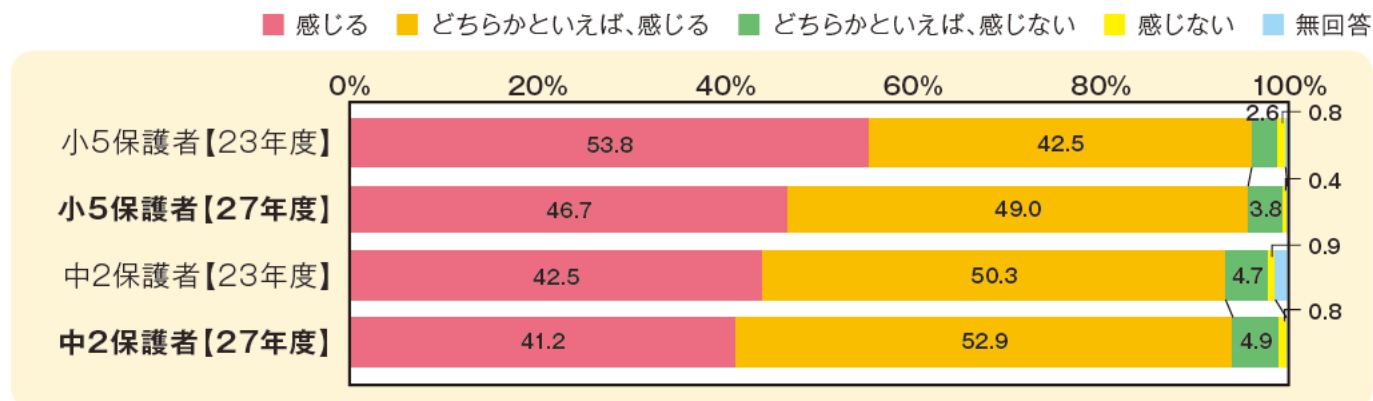
Q. あなたは、家庭や地域、学校などふだん生活しているなかで、「大切にされている」と感じますか。



資料：「三重県子ども条例に基づく調査・子ども調査」

図3-13 「子どもは大切にされている」と感じるか(保護者)

Q. あなたは、あなたのお子さまが、家庭や地域、学校などふだん生活しているなかで、「大切にされている」と感じますか。



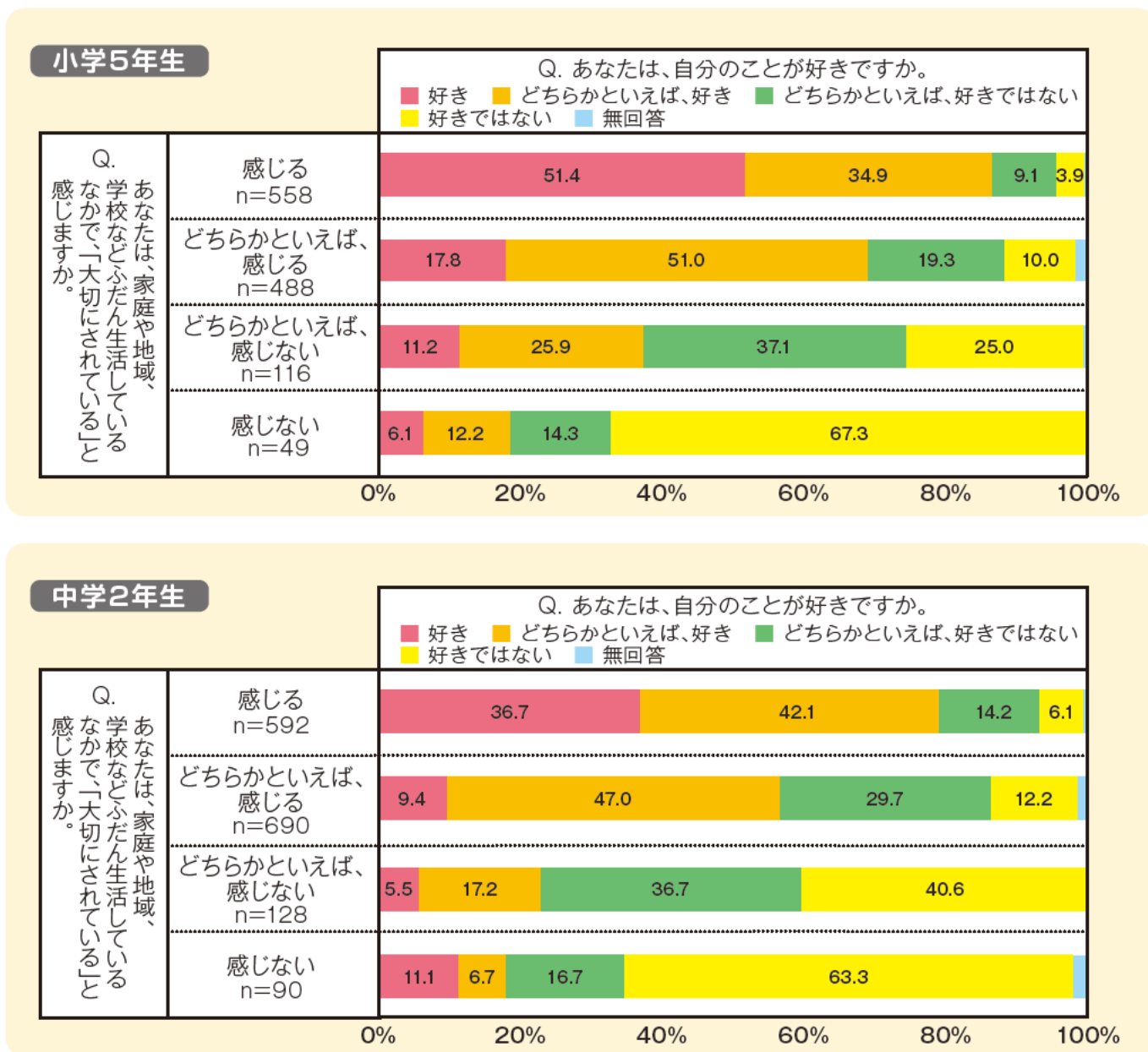
資料：「三重県子ども条例に基づく調査・保護者調査」

●大切にされていると「感じる」子どもは「感じない」子どもより「自分のことが好き」と答える割合が高い。

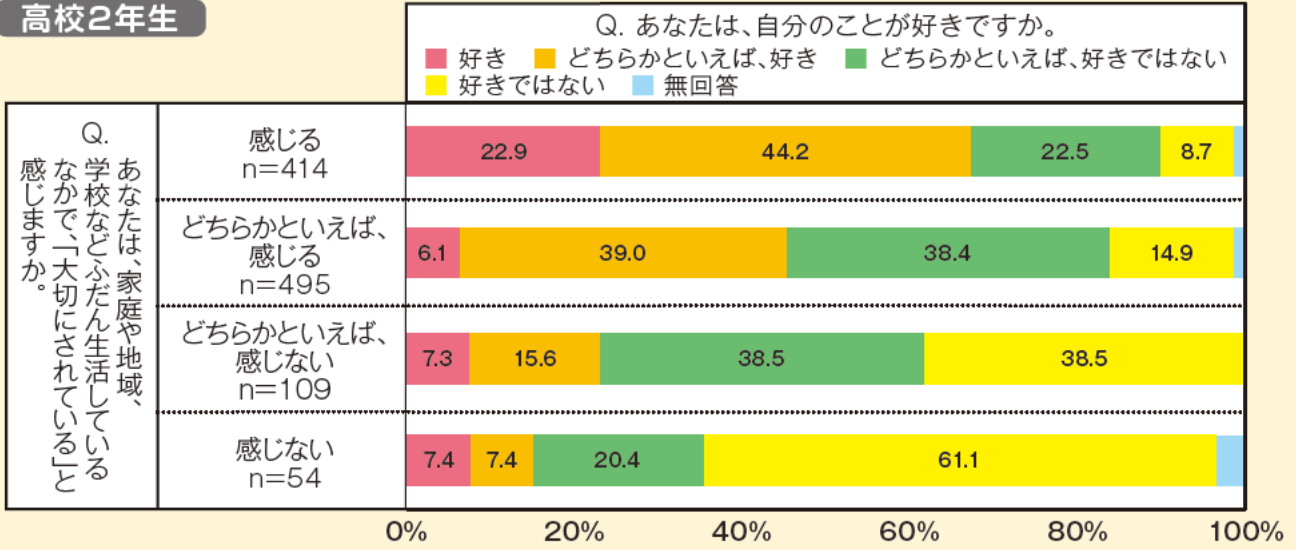
「大切にされている」と「自分のことが好き」の関係を見ると、自分のことが「好き」「どちらかといえば、好き」と答えた小学生の割合は、大切にされていると「感じる」子どもでは86.3%であるのに対し、「感じない」子どもでは18.3%と低くなっています。

同様に、自分のことが「好き」「どちらかといえば、好き」と答えた中学生の割合は、大切にされていると「感じる」子どもでは78.8%、「感じない」子どもでは17.8%、高校生では、大切にされていると「感じる」子どもでは67.1%、「感じない」子どもでは14.8%となっており、ふだん生活している中で大切にされていると「感じる」子どもの方が「感じない」子どもより「自分のことが好き」と答える割合が高くなっています。

図3-14 「大切にされている」と「自分のことが好き」との関係



高校2年生



資料:「三重県子ども条例に基づく調査・子ども調査」

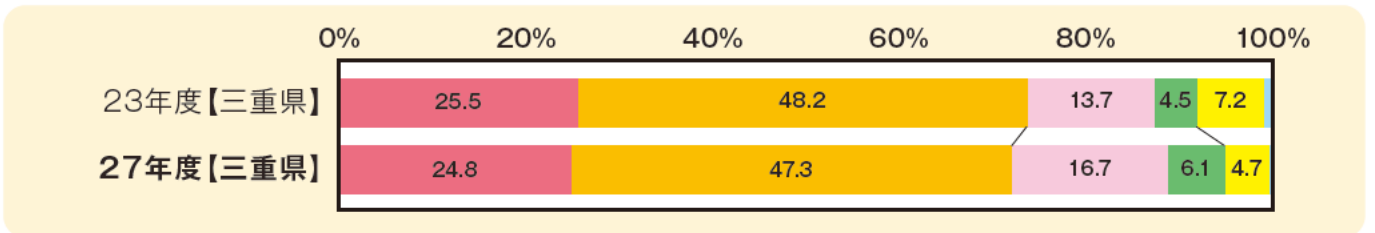
●今の社会の中で、子どもたちが「大切にされている」と感じる県民は減っている。

「今の社会のなかで、子どもたちが大切にされていると思いますか」という質問に対して、「思う」「どちらかといえば、思う」と答えた県民の割合は72.1%で、前回の調査より低くなっています。

図3-15 「大切にされている」と感じるか(県民)

Q. あなたは、今の社会のなかで、子どもたちが大切にされていると思いますか。

■ 思う ■ どちらかといえば、思う ■ どちらかといえば、思わない
■ 思わない ■ わからない ■ 無回答



資料:「三重県子ども条例に基づく調査・県民調査」

(2) 大人の理解

●「自分のことをわかっている」と思う子どもの割合は、子どものことを「理解している」と思う保護者よりも低い。

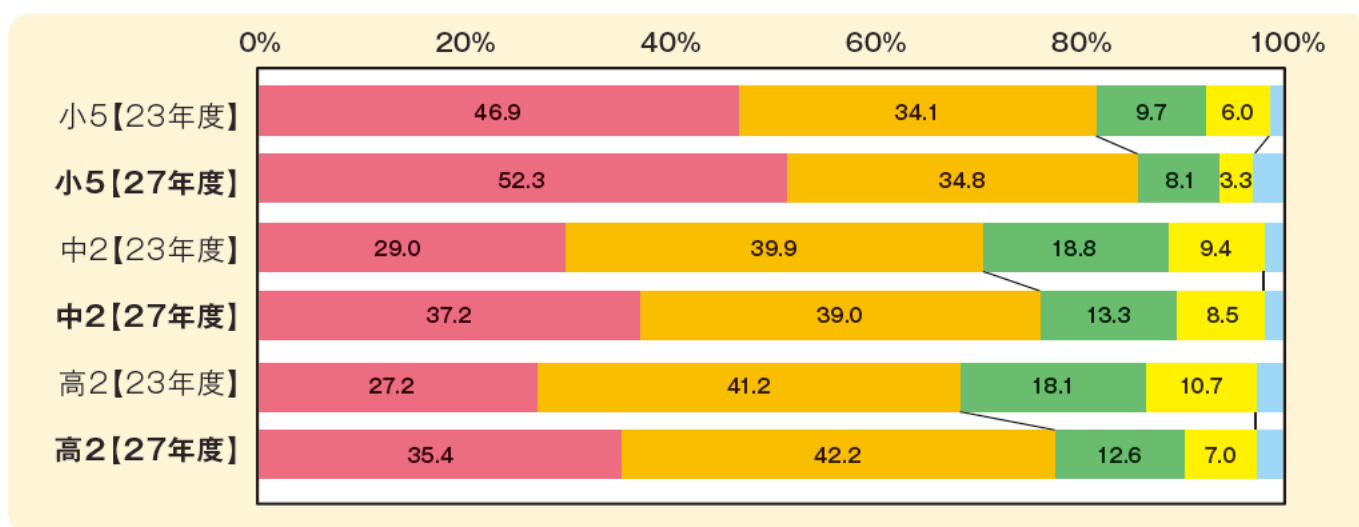
親(保護者)などの大人は自分のことをわかっていると思う「思う」「どちらかといえば、思う」と答えた小学生は87.1%、中学生は76.2%、高校生は77.6%となっており、前回の調査より小学生で6.1ポイント、中学生で7.3ポイント、高校生で9.2ポイント、それぞれ高くなっています。

一方、子どものことを理解していると「思う」「どちらかといえば、思う」と答えた小学生の保護者は94.2%、中学生の保護者は90.9%となっており、子どもと保護者の間には意識の差がみられます。

図3-16 大人は「自分のことをわかっている」と思うか

Q. あなたは、親(保護者)などの大人は、「自分のことをわかっている」と思いますか。

■ 思う ■ どちらかといえば、思う ■ どちらかといえば、思わない ■ 思わない ■ 無回答

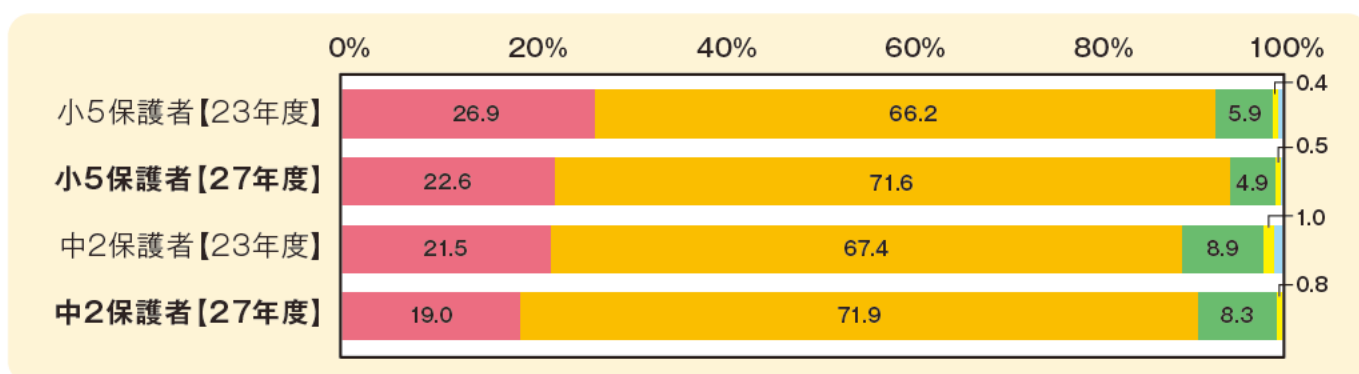


資料:「三重県子ども条例に基づく調査・子ども調査」

図3-17 「子どものことを理解している」と思うか(保護者)

Q. あなたは、お子さまのことを理解していると思いますか。

■ 思う ■ どちらかといえば、思う ■ どちらかといえば、思わない ■ 思わない ■ 無回答



資料:「三重県子ども条例に基づく調査・保護者調査」

●子どもが「決めた時間に自分で起きること」ができていると思う保護者は約40%、「近所の人へのあいさつ」は80%以上。

子どもが「家の人に起こされずに、決めた時間に自分で起きること」が「できている」「どちらかといえば、できている」と答えた小学生の保護者は42.8%、中学生の保護者は39.8%となっています。

また、「休みの日に着る服を自分で選ぶこと」については、小学生の保護者は77.0%、中学生の保護者は86.8%となっています。

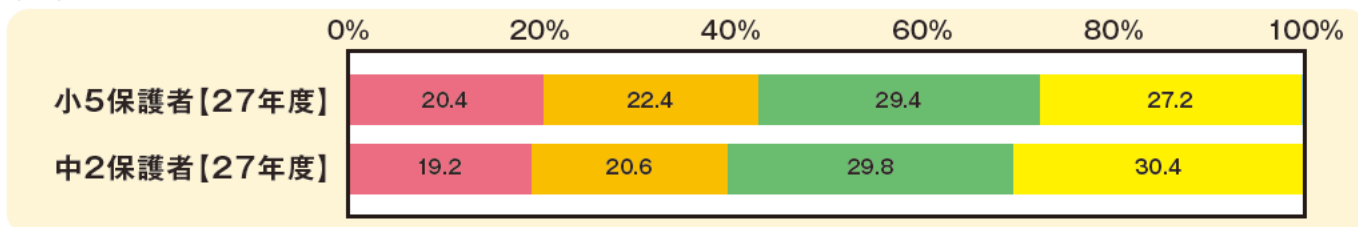
「近所の人にあいさつをすること」については、小学生の保護者は83.0%、中学生の保護者は86.8%、「初めて会った人に自分から話しかけること」については小学生の保護者は45.4%、中学生の保護者は43.2%となっています。

図3-18 大人からみた子どもが自分でできること

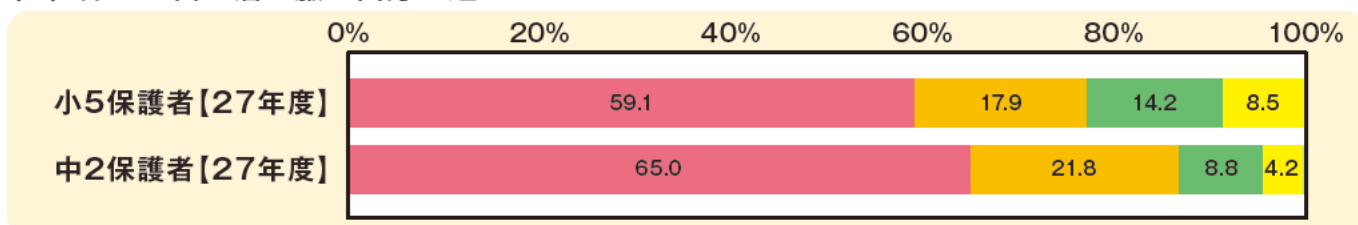
Q. あなたのお子さまは次のことができていると思いますか。

■ できている ■ どちらかといえば、できている ■ どちらかといえば、できていない ■ できていない ■ 無回答

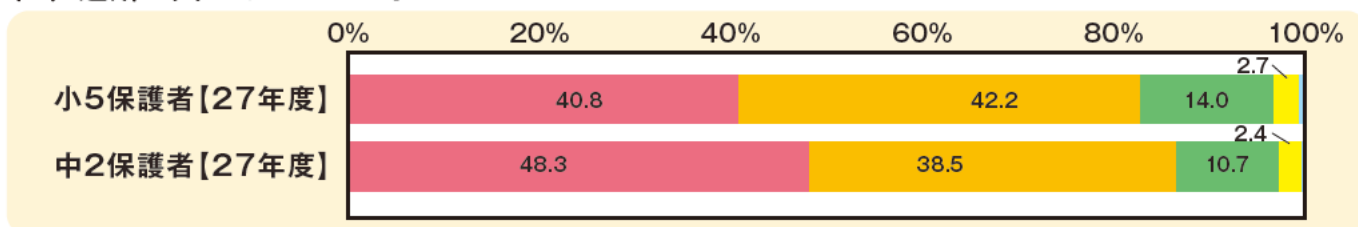
(1) 家の人に起こされずに、決めた時間に自分で起きること



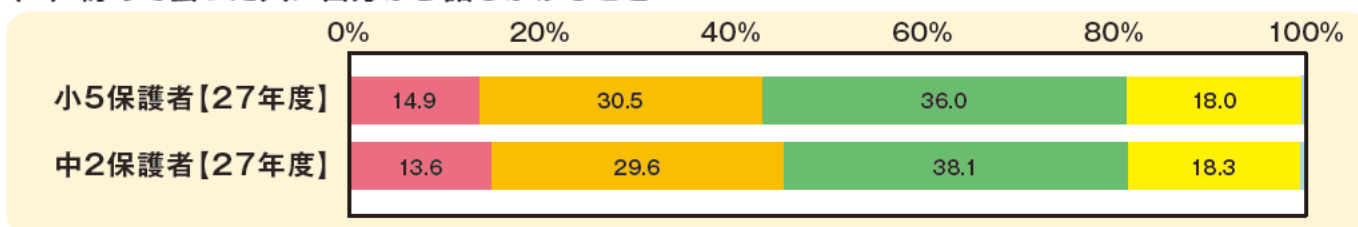
(2) 休みの日に着る服を自分で選ぶこと



(3) 近所の人にあいさつをすること



(4) 初めて会った人に自分から話しかけること



(1) 大人の傾聴姿勢

●大人は意見を「聞いてくれる」と感じる子どもの割合は増えているが、子どもの意見を「聞いている」と答える保護者の割合よりも低い。

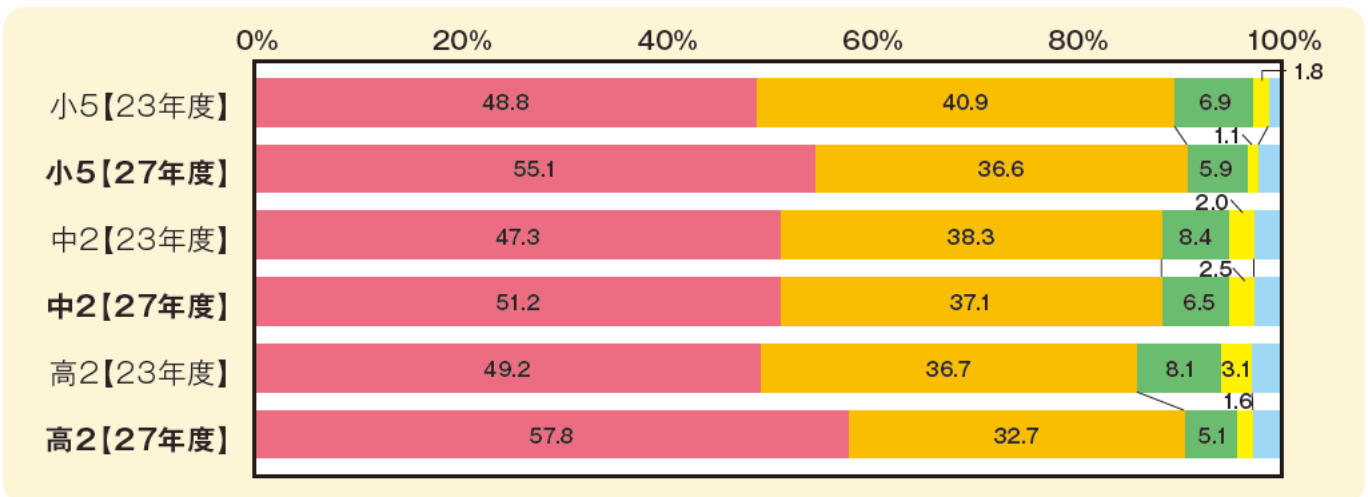
大人は意見を「いつも聞いてくれる」「ときどき聞いてくれる」と答えた小学生は91.7%、中学生は88.3%、高校生は90.5%と、いずれも前回の調査よりも高くなっています。

一方、子どもの意見を「いつも聞いている」「ときどき聞いている」と答えた小学生の保護者は98.0%、中学生の保護者は98.1%となっており、子どもと保護者の間には意識の差がみられます。

図3-19 子どもから見た大人の傾聴姿勢

Q. あなたは自分のことを決めるとき、親(保護者)などの大人は、あなたの意見を聞いてくれますか。

■ いつも聞いてくれる ■ ときどき聞いてくれる ■ あまり聞いてくれない ■ まったく聞いてくれない ■ 無回答

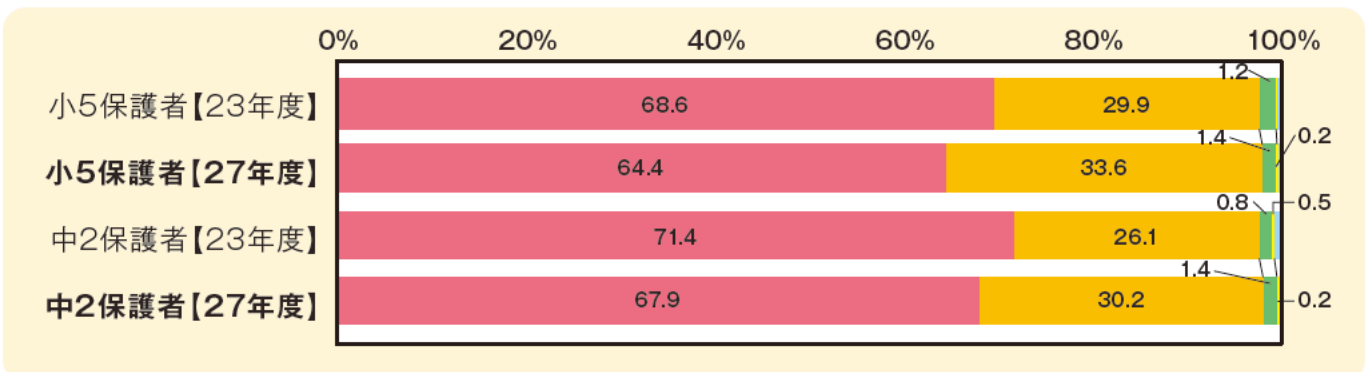


資料:「三重県子ども条例に基づく調査・子ども調査」

図3-20 大人の傾聴姿勢

Q. あなたは、お子さまのことを決めるとき、お子さまの意見を聞いていますか。

■ いつも聞いている ■ ときどき聞いている ■ あまり聞いていない ■ まったく聞いていない ■ 無回答



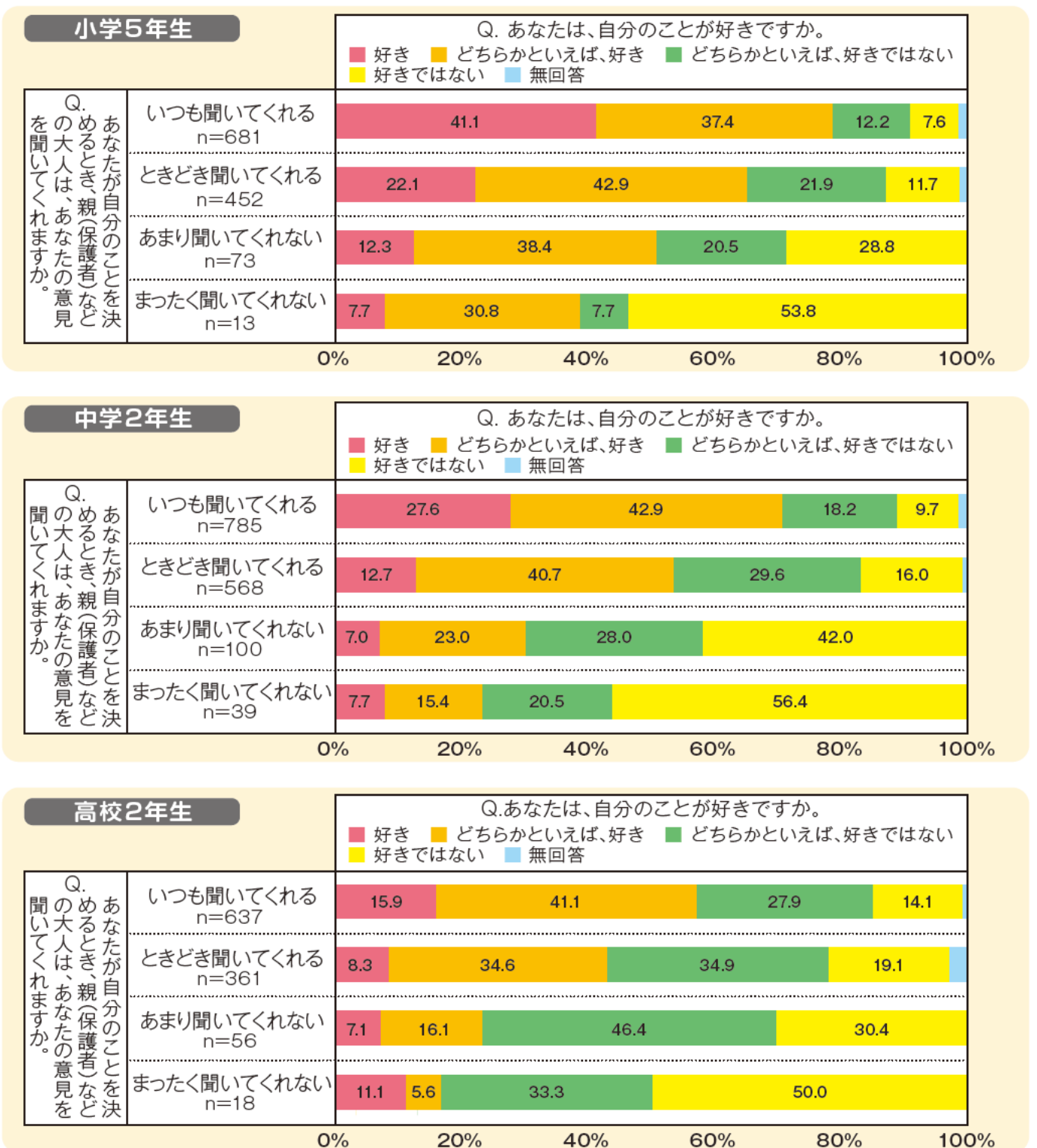
資料:「三重県子ども条例に基づく調査・保護者調査」

●大人は自分の意見を「聞いてくれる」と答える子どもの方が「自分のことが好き」と答える割合が高い。

「大人は自分の意見を聞いてくれる」と「自分のことが好き」の関係をみると、自分のことが「好き」「どちらかといえば、好き」と答えた小学生の割合は、「いつも聞いてくれる」と答えた子どもでは78.5%であるのに対し、「まったく聞いてくれない」と答えた子どもでは38.5%と低くなっています。

同様に、自分のことが「好き」「どちらかといえば、好き」と答えた中学生の割合は、「いつも聞いてくれる」と答えた子どもでは70.5%、「まったく聞いてくれない」と答えた子どもでは23.1%、高校生では、「いつも聞いてくれる」と答えた子どもでは57.0%、「まったく聞いてくれない」と答えた子どもでは16.7%となっており、大人は自分の意見を「聞いてくれる」と答える子どもの方が「自分のことが好き」と答える割合が高くなっています。

図3-21 「意見を聞いてくれる」と「自分のことが好き」との関係



資料:「三重県子ども条例に基づく調査・子ども調査」

●自分の意見を聞き入れてほしいと思うことは、小学生は「習いごと」や「服そう」、中高校生は「服そう」「部活動」「進学したい学校」などが上位。

「どのようなことについて自分で決めたり、自分の意見を聞き入れてほしいと思いますか」という質問に対して、小学生は「習いごと」が42.6%と最も高く、次いで「服そう」、「テレビ、ゲーム」の順となっています。

中学生・高校生は「服そう」がともに47.6%と最も高く、次いで中学生は「部活動」、「つきあう友だち」、高校生は「進学したい学校」、「つきあう友だち」の順となっています。

一方、「どのようなことについて、子どもに決めさせたり、子どもの意見を尊重したりしたいと思うか」という質問に対して、小学生の保護者は「服装」、「付き合う友だち」、「習い事」、中学生の保護者は「進学したい学校」、「クラブ活動」、「服装」の順に高くなっています。

図3-22 自分で決めたり意見を聞き入れてほしいこと

Q. あなたは、どのようなことについて自分で決めたり、自分の意見を聞き入れてほしいと思いますか。
(複数回答・いくつでも)

項目	小学5年生		中学2年生		高校2年生	
	27年度	23年度	27年度	23年度	27年度	23年度
服そう	②36.4	32.9	①47.6	①45.8	①47.6	②47.1
習いごと	①42.6	②37.3	31.3	18.8	14.2	11.3
塾	11.7	13.6	22.3	16.5	9.9	8.8
家に帰る時間	21.0	18.8	30.2	25.4	32.3	33.2
テレビ、ゲーム	③35.4	①38.8	42.6	34.0	27.7	28.8
寝る時間	29.4	③35.6	40.7	38.2	35.6	38.8
進学したい学校	18.6	19.2	40.2	36.1	②43.7	36.1
部活動	15.7	20.4	②43.3	③37.2	35.4	26.9
アルバイト	7.8	11.8	16.2	16.7	20.5	26.4
就職先	12.4	19.6	23.4	22.6	30.3	28.1
つきあう友だち	21.0	30.7	③43.1	②42.0	③40.5	①50.2
携帯電話・スマートフォンを持つこと	31.4	27.7	39.2	30.7	27.4	25.6
趣味の活動	21.8	22.5	38.8	30.7	38.8	③40.3
学校のきまり	8.4	10.6	10.0	10.5	7.1	12.8
祭りなどの地域の行事	20.1	11.9	23.2	8.7	14.5	7.7
地域の児童館や公園などの施設の使い方	4.0	2.8	2.8	2.0	3.2	2.4
子どもにかかわる社会の決まりなどの重要なこと	5.7	3.7	5.2	2.7	3.4	3.8
その他	1.8	3.2	2.0	1.3	1.6	2.8
自分で決めたいと思わない	5.4	5.0	4.0	4.3	3.9	2.7

資料:「三重県子ども条例に基づく調査・子ども調査」

注:①②③の項目は今回・前回それぞれの上位3位を表す。

図3-23 保護者が子どもに決めさせたり意見を尊重したいこと

Q. あなたは、どのようなことについてお子さまに決めさせたり、お子さまの意見を尊重したりしたいと思いますか。(複数回答・いくつでも)

(%)

項目	保護者(小学5年生)		保護者(中学2年生)	
	27年度	23年度	27年度	23年度
服装	①64.4	③54.8	③63.0	59.4
習い事	③61.9	②56.3	38.5	39.0
塾	20.6	23.6	28.1	29.9
家に帰る時間	8.3	6.6	10.3	9.3
テレビ、ゲーム	16.3	11.8	18.4	13.5
寝る時間	8.8	8.9	20.5	17.6
進学したい学校	52.0	52.2	①65.1	①68.9
クラブ活動	49.9	52.7	②64.4	②66.9
アルバイト	12.8	15.3	9.7	12.5
就職先	31.4	29.5	29.2	28.2
付き合う友達	②62.1	①64.5	62.1	③60.8
携帯電話・スマートフォンを持つこと	3.4	4.1	11.3	8.6
趣味の活動	48.1	41.8	40.1	35.4
学校のきまり	9.5	8.6	9.9	10.6
祭りなどの地域の行事	25.5	20.2	26.1	16.5
地域の児童館や公園などの施設の使い方	6.5	5.8	5.3	4.1
子どもにかかわる社会の決まりなどの重要なこと	9.5	6.8	8.8	9.4
その他	0.7	0.8	0.9	1.4
自分で決めさせようとは思わない	0.1	0.0	0.6	0.3

資料:「三重県子ども条例に基づく調査・保護者調査」

注:①②③の項目は今回・前回それぞれの上位3位を表す。

(2) 今の子どもの特徴

●今の子どもたちは「元気がある」と感じる県民は約70%、「忍耐力がない」は約80%。

「今の子どもたちの特徴」について、「元気がある」と答えた県民の割合は68.8%、「個性がある」は63.2%、「誠実である」は48.2%で、肯定的な回答が多くなっています。

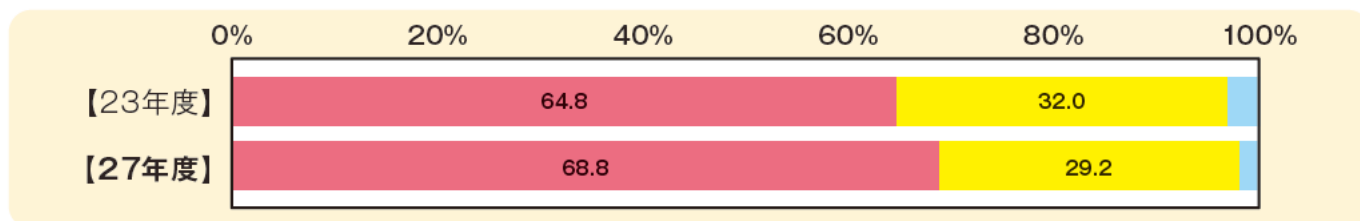
一方、「忍耐力がある」は12.6%、「社会に関心がある」は19.2%、「自立心がある」は23.3%で、否定的な回答が多くなっています。

図3-24 大人が感じる今の子どもの特徴

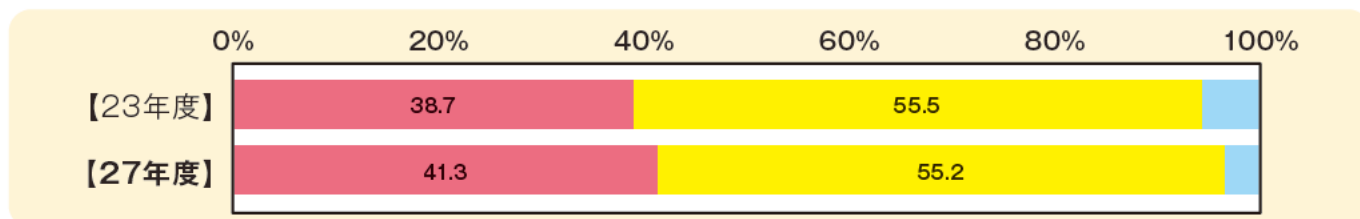
Q. あなたは、一般に、今の子どもたちの特徴をどのように感じますか。

■ はい ■ いいえ ■ 無回答

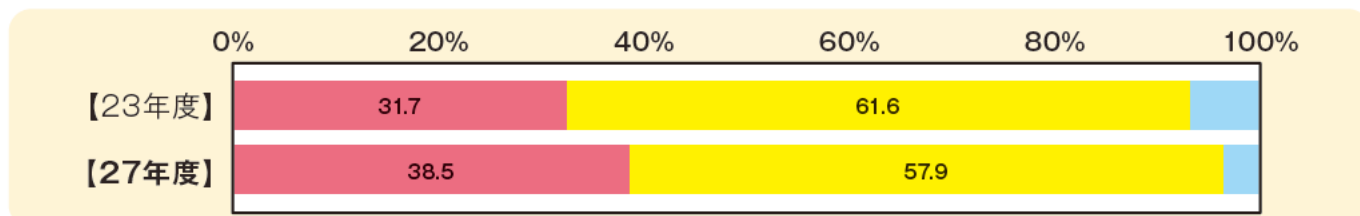
(1) 元気がある



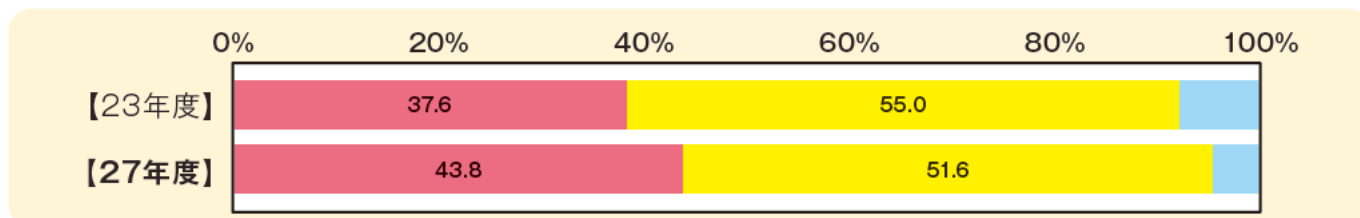
(2) 他人に対する思いやりがある



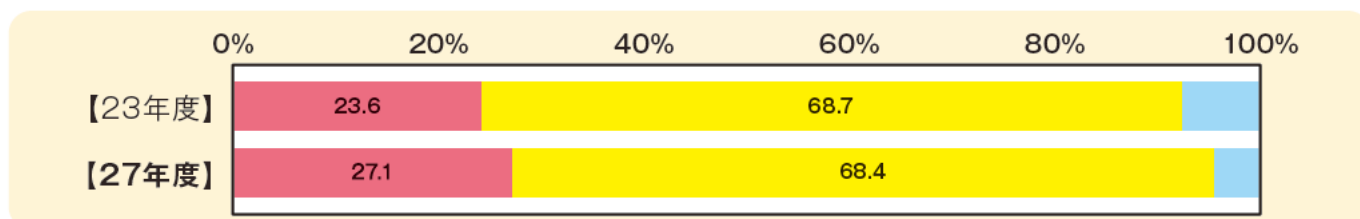
(3) 意欲的である



(4) 夢がある

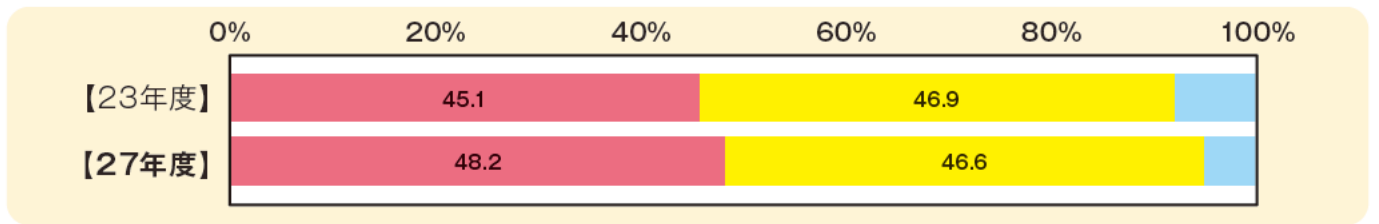


(5) 責任感がある

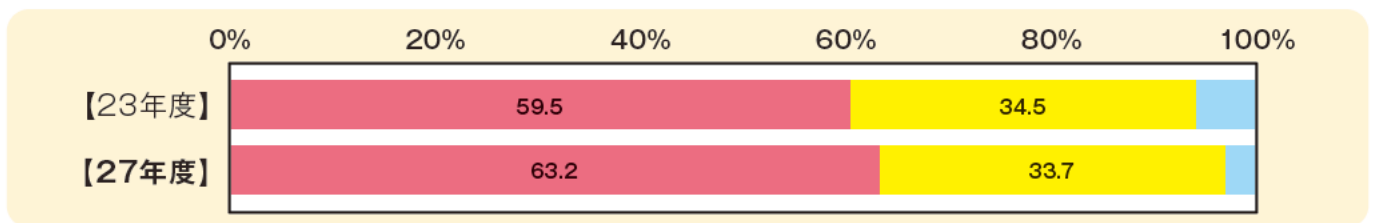


■ はい ■ いいえ ■ 無回答

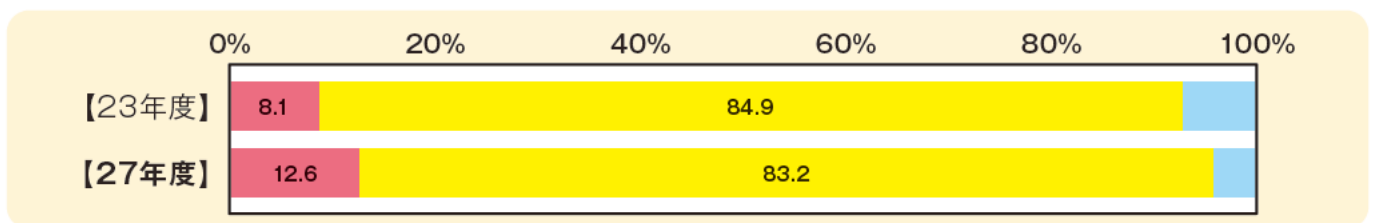
(6) 誠実である



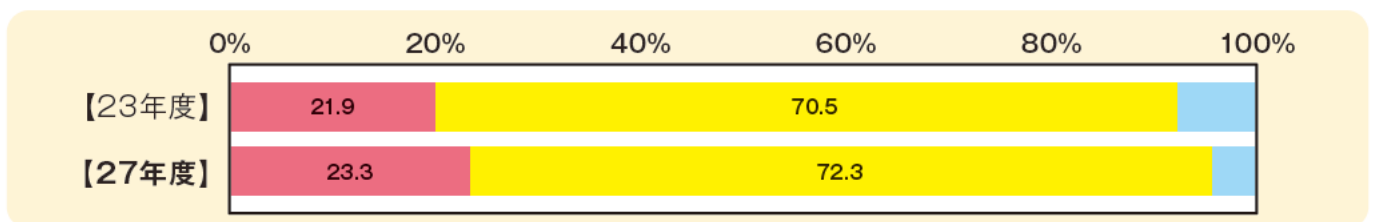
(7) 個性がある



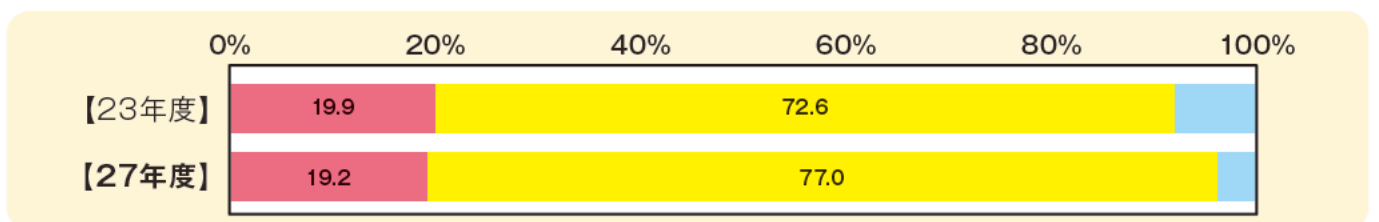
(8) 忍耐力がある



(9) 自立心がある



(10) 社会に関心がある



資料:「三重県子ども条例に基づく調査・県民調査」

第3章 第4節 子どもの体験

(1) 子どもの体験

- 赤ちゃんとのふれあいや、小さい子どもと遊んだ経験が「何度もある」または「少しある」子どもは60%以上、自然体験が「何度もある」子どもは約半数。

赤ちゃんとのふれあったことが「何度もある」「少しある」と答えた小学生は74.3%、中学生は66.1%、高校生は60.1%、小さい子どもと遊んであげたことについては、小学生は74.0%、中学生は65.9%、高校生は70.3%となっています。

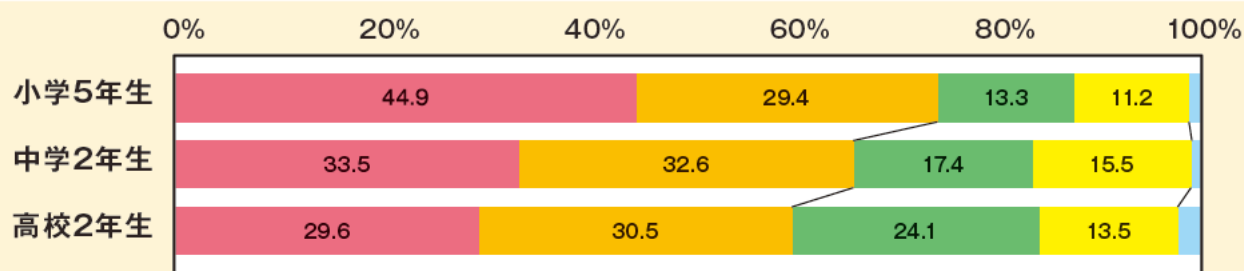
また、山や森、川や海など、自然の中で遊んだことが「何度もある」と答えた小学生は51.0%、中学生は48.7%、高校生は54.0%となっています。

図3-25 今までの体験

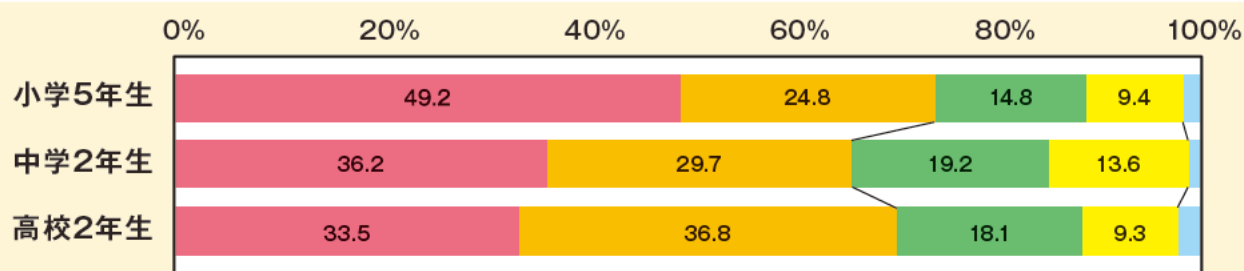
Q. あなたは、今までに、次のようなことをどのくらいしたことがありますか。

■ 何度もある ■ 少しある ■ あまりない ■ まったくない ■ 無回答

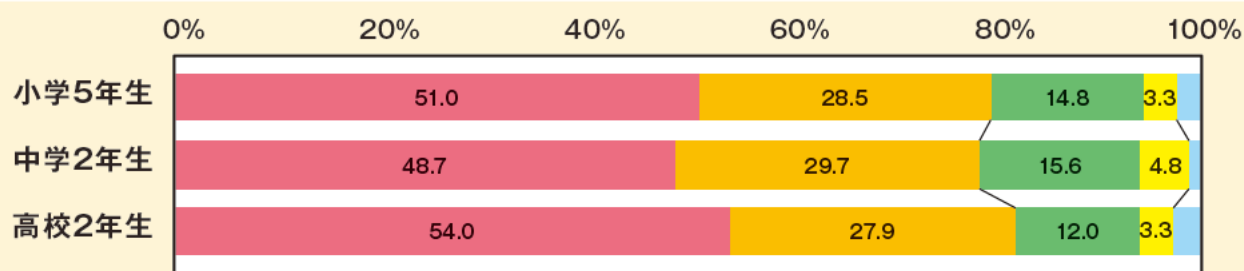
(1) 赤ちゃんとのふれあったこと



(2) 小さい子ども(保育所や幼稚園などに通う)と遊んであげたこと

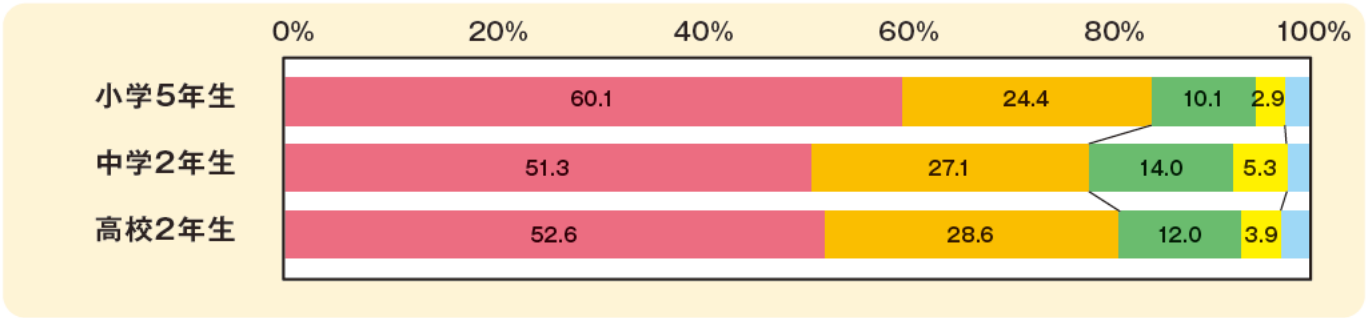


(3) 山や森、川や海など、自然の中で遊んだこと

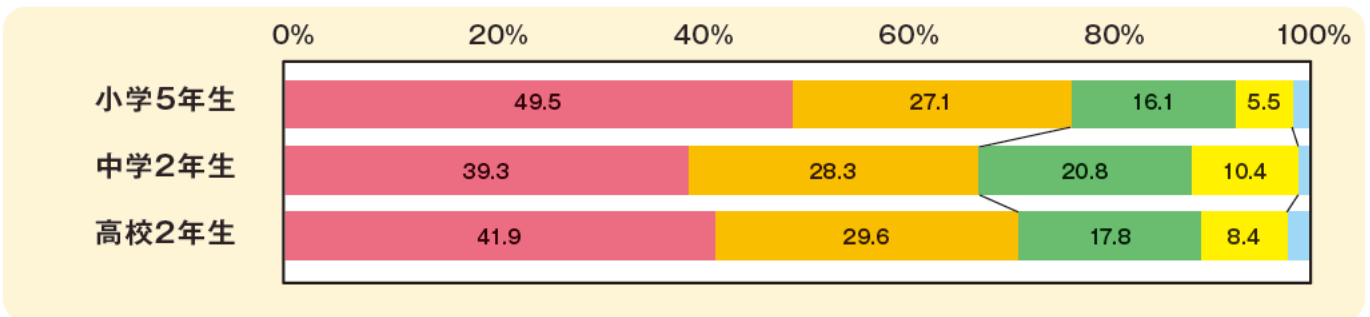


■ 何度もある ■ 少しある ■ あまりない ■ まったくない ■ 無回答

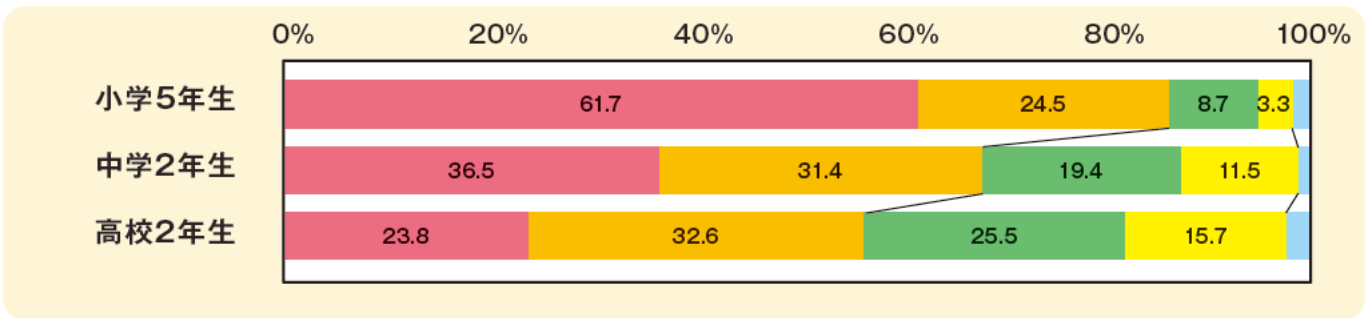
(4) 家の人と一緒に地域の祭りや行事に参加したこと



(5) 家の人と一緒にスポーツをしたこと



(6) 家の人に勉強を教えてもらったこと



資料:「三重県子ども条例に基づく調査・子ども調査」

●「しっかり勉強するように言っている」保護者は70%以上、「スポーツと一緒に楽しんでいる」割合は30%以上。

子どもとの関わりについて、「しっかり勉強するように言っている」に「あてはまる」「どちらかといえば、あてはまる」と答えた小学生の保護者は79.9%、中学生の保護者は76.8%となっています。

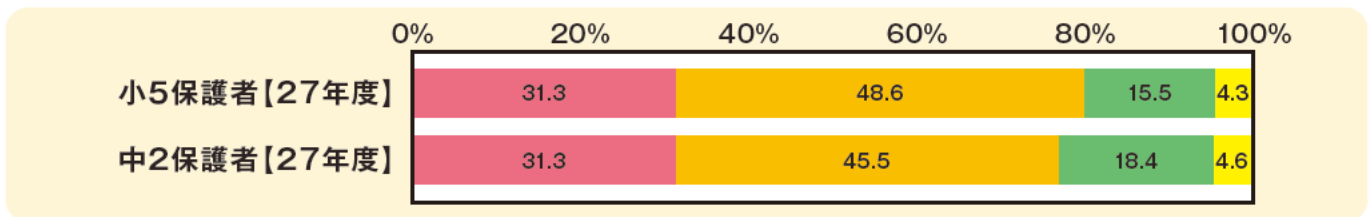
また、「子ども自身でできることは自分でさせている」小学生の保護者は89.8%、中学生の保護者は84.3%、「山や森、川や海など、自然の中で遊ばせている」小学生の保護者は51.8%、中学生の保護者は38.8%、「子どもと一緒にスポーツを楽しんでいる」小学生の保護者は44.2%、中学生の保護者は31.2%、「子どもと一緒にスポーツ以外の趣味を楽しんでいる」小学生の保護者は54.7%、中学生の保護者は43.3%となっています

図3-26 子どもとの関わり

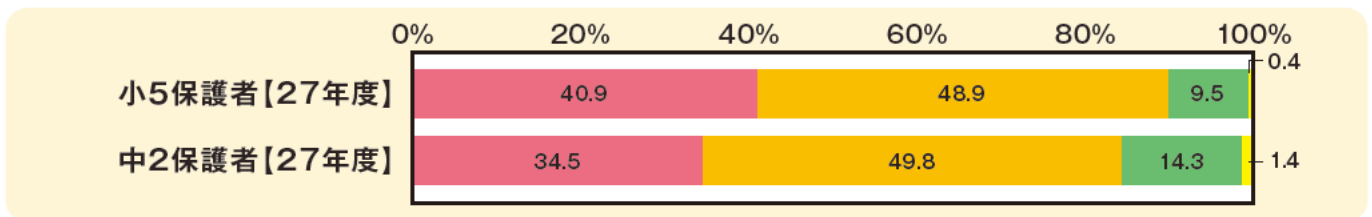
Q. 普段のあなたとお子さまとのかかわりについて、次のことがどのくらいあてはまりますか。

■ あてはまる ■ どちらかといえば、あてはまる ■ どちらかといえば、あてはまらない ■ あてはまらない ■ 無回答

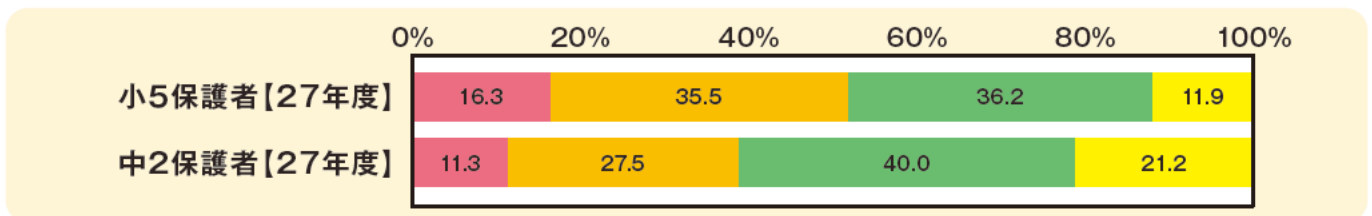
(1) しっかり勉強するように言っている



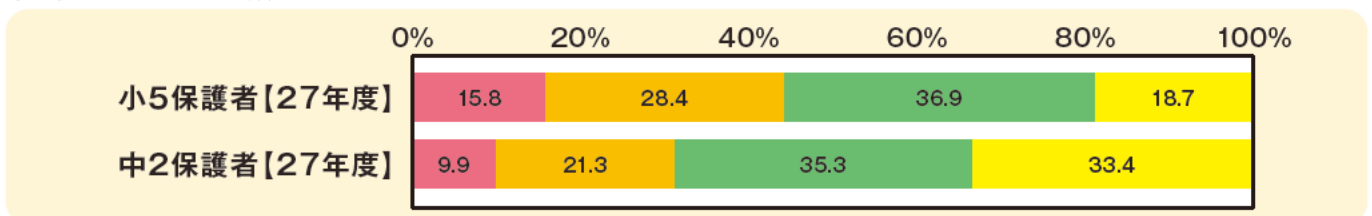
(2) 子ども自身でできることは自分でさせている



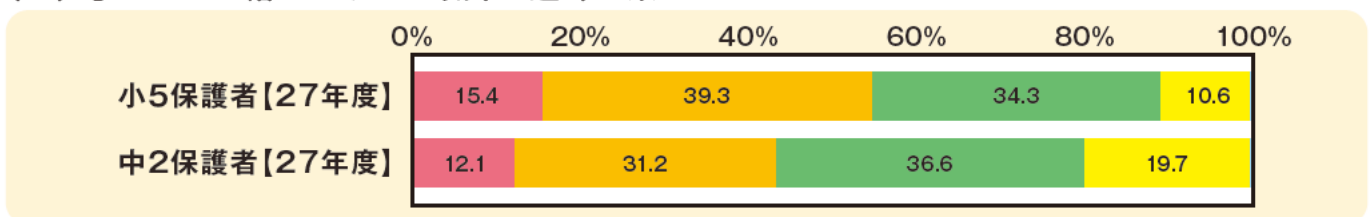
(3) 山や森、川や海など、自然の中で遊ばせている



(4) 子どもと一緒にスポーツを楽しんでいる



(5) 子どもと一緒にスポーツ以外の趣味を楽しんでいる



資料:「三重県子ども条例に基づく調査・保護者調査」